

首都大学野球連盟主催公式戦における投球数ガイドライン

標記の件につきまして、2月13日に開催された理事会・評議委員会で承認された投球数ガイドラインをご報告致します。

投手においては、これまでさまざまなレベルで「投球過多」による投球障害肩及び肘が問題となっております。首都大学野球連盟としては、少しでもこれらの障害を予防するために2013年10月19日に開催された第1回医科学専門プロジェクトミーティングにおいて「リーグ戦における投球数制限の是非」について検討致しました。その後、「医科学専門プロジェクトチーム」を立ち上げ、2012年秋季リーグ戦から2017年秋季リーグ戦までの全チームのリーグ戦における投球数を調査、および医科学文献調査を行ってまいりました。

投球障害肩及び肘は、投球数のみが要因ではなく、誤ったフォームにより1球でも発生することは医学界では確認されています。しかしながら、予防の第一段階として投球数ガイドラインを設けることが妥当であるという考えから以下のようなガイドラインを作成致しました。

このガイドラインは提言といった形で、特に罰則規定を設けません。本連盟加盟校の投手から投球障害肩及び肘を発生させないとの趣旨をご理解いただきますようお願い申し上げます。

【投球数ガイドライン】*罰則規定は設けない

- ① 先発1戦目は投球数制限をしない
- ② 2戦目は前日121球以上投げた場合は、翌日50球までとする。
但し投球中に50球を超えた場合はイニング終了まで可とする。
- ③ 1戦目で120球以下の場合は連投を妨げない。
- ④ 雨天で1日あけた場合は、制限を設けない

以上